

報道関係者 各位

専修大学 社会科学研究所公開講座 「太閤秀吉の誕生と近衛家女性の知」を開催

～秀吉写本から読み解く、戦国時代末期の権力者と公家女性の歴史社会的関係性～

【日時】2026 年 7 月 9 日(木) 17:00～18:30

【会場】多摩市民館 大会議室(神奈川県川崎市多摩区登戸 1775-1 多摩区役所 3 階)

専修大学(住所:東京都千代田区、学長:馬場杉夫、以下本学)社会科学研究所は、公開講座「太閤秀吉の誕生と近衛家女性の知ー専修大学所蔵稀本『源氏の物語のおこり』を探るー」を、2026 年 7 月 9 日(木)に川崎市多摩市民館にて開催いたします。

近年、戦国時代や王朝文化への関心が幅広い世代で高まっています。また、歴史研究においては、「ジェンダー」や「多様性」といった現代的な視点からの分析も進展しています。一方で、こうした学術的成果が一般社会に広く共有される機会は依然として限られており、信頼性の高い史料に基づく知見を専門家以外にも分かりやすく伝えることが、これまで以上に求められています。

本講座では、『源氏物語と皇権の風景』などの著作で知られる小山利彦氏(本学名誉教授)を講師に迎え、本学図書館所蔵の稀本『源氏の物語のおこり』(蜂須賀家旧蔵本)を中心に講義を行います。本書は、近衛家の慶福院玉栄が姪のちやあに贈った『源氏物語』の解説書を、太閤秀吉が密かに書写したという極めて稀な写本です。そこには最高公家である近衛家に対する秀吉の思惑と、関わることになった二人の近衛家息女の生き方が見えてきます。この稀本を「階級とジェンダーの交差性」という視点から読み解き、戦国時代末期における最高権力者秀吉と、近衛家の女性たちをめぐるとの歴史社会的関係性を浮き彫りにします。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、報道関係の皆様におかれましては、本講座の告知および当日のご取材をご検討いただけますと幸いです。

～概要～

■専修大学 社会科学研究所公開講座「太閤秀吉の誕生と近衛家女性の知」

日 時: 2026 年 7 月 9 日(木) 17:00～18:30

会 場: 多摩市民館 大会議室(神奈川県川崎市多摩区登戸 1775-1 多摩区役所 3 階)

テーマ: 太閤秀吉の誕生と近衛家女性の知

ー専修大学所蔵稀本『源氏の物語のおこり』を探るー

講 師: 小山利彦氏(専修大学名誉教授)

対象者: どなたでもご参加いただけます

方 式: 対面

主 催: 専修大学 社会科学研究所

